

医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法の確立及び実証に関する研究

1. 研究の対象

浜松医科大学病院にて1996年1月～2023年3月（年度ごと調査期間を更新）に次の薬剤を処方された患者様または次の疾患を罹患した患者様。

対象となる薬剤：

テイコプラニン、バンコマイシン、アルベカシン、アミカシン、ゲンタマイシン、エダラボン、シスプラチン、エナラプリル、バラシクロビル、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ミカファンギン、セファゾリン、セフォチアム、セフメタゾール、フロモキシド、セフォゾプラン、セフェピム、セフトリアキソン

チアマゾール、チクロピジン、サラゾスルファピリジン、メサラジン、プロピルチオウラシル、アミオダロン、炭酸リチウム、IFN製剤、リファンピシン、スニチニブ、アキシチニブ、クロザピン、クロルプロマジン、ミアンセリン

ワルファリン、ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン
ランジオロール塩酸塩、ジゴキシン

シタグリプチン、アログリプチン、リナグリプチン、テネリグリプチン、オマリグリプチン、リラグルチド、エキセナチド、リキシセナチド、デュラグルチド、トルブタミド、グリベンクラミド、グリクラジド、グリメピリド、ナテグリニド、ミチグリニド、レパグリニド、アカルボース、ボグリボース、ミグリトール、イプラグリフロジン、ダパグリフロジン、カナグリフロジン、メトホルミン、ピオグリタゾン

対象となる疾患：

側彎症

2. 研究目的・方法

1. 共同研究医療機関（浜松医科大学病院）の医療情報データベースの匿名化された医療情報を用いて副作用検出方法を検討します。

本研究にて副作用検出方法を確立することで、医薬品ごとの副作用発症頻度を算出することが可能となり、医薬品間のリスク評価に繋がります。

2. 共同研究医療機関（浜松医科大学病院）の医療情報データベースの匿名化された医療情報を用いて疾患に好発する合併症の予測因子を探索します。

本研究にて合併症発現の予測因子を見つけることで、合併症の発現を抑制すること繋がります。

研究期間：2015年3月11日～2024年2月29日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：処方内容、病名、検査結果、診療録情報、匿名化 ID 番号、年齢、性別 等

4. 外部への試料・情報の提供

データ解析機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、共同研究機関の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

浜松医科大学付属病院 薬剤部 川上 純一

名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分野 頭金 正博

国立医薬品衛生研究所 医薬安全科学部 佐井 君江

東京大学医学部付属病院 企画情報運営部 大江 和彦

香川大学医学部付属病院 医療情報部 横井 英人

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分野 頭金 正博

TEL：052-836-3778 FAX：052-836-3779

E-mail：tohkin@phar.nagoya-cu.ac.jp

研究代表者：

浜松医科大学付属病院 薬剤部 堀 雄史

TEL：053-435-2763 FAX：053-435-2764

E-mail：horika2@hama-med.ac.jp